

五 箇 伝

莫濃伝	備前伝	相州伝	大和伝	山城伝	区分
匂い少い	匂い本位	荒沸え	中沸え	小沸え	沸え、匂い
実用的な反りの少 い普通の姿	万人向きのころ合 いな姿で腰反りが ある	長寸で反りが浅く 重ね薄く、身幅広 く、切先延びフク ラの枯れた豪壮な 作柄	山城伝に似ている が、シッカリし た姿で、鑄幅が広 かつ高い	伝家の宝刀といっ た感じの、深い身 幅の狭い、小切先 になつた品格のあ る作柄	姿、恰好
焼刃が浮き立った のたれ刃を焼く、 刃文は表裏が能く 揃う	丁子乱れ、腰の開 いた乱れで、丁子映 が多い	焼幅の最も広い流 派で、大乱れ、皆 焼等の賑やかな乱 れ刃	直刃か直刃ほつれ で、必ず刃縁に二重 刃、喰い違がある	焼幅の狭い小乱れ で、焼刃の中に非凡 な働きが多い	刃文
地蔵風に返り 棟寄りに固く 止める	焼きが弱くて乱 れ込んでいる	大きく乱れ込 んで返りが深 い	焼詰、掃掛で 乱れ込まず返 りの深いもの は無い	品よく乱れ込 み小丸に返る	錠子
本目肌 で棟寄 に現る	歪目	板目	柱目	梨子地	地肌
普通の行 の棟	低い行の 棟	真の棟ま たは丸棟 棟焼が多 い	行の棟で 特に棟が 高い	行の棟ま たは真の 棟	棟
彫刻は稀 善定系は恰好の よい姿に直刃を 焼く	彫刻は棟寄りに 弱々しい瘦せた 姿の貧弱なもの	彫刻は手の込ん だ意匠が多い 異風造りが多い	彫刻は殆ど無い 地沸状態がある 作品は割に少い	彫刻は身の中央 に鑢の深い簡単 な品位のある彫 物	彫刻、その他